

対象校No. 1026  
注4

学校コード F140310110696  
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置  
注1



注2  
久留米大学 医学部 医療検査学科

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人久留米大学  
令和6年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	医学部事務部 看護・医療検査学科事務室
職名・氏名	カカリチョウ ミズオチ アスカ 係長 水落 明日香
電話番号	0942-31-7714 (内線: 3956)
(夜間)	0942-31-7714 (内線: 3956)
e-mail	kangokensajimu@kurume-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合: 「〇〇大学」  
・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。  
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。

# 目次

## 医学部

＜医療検査学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	47
7. その他全般的事項	48

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人久留米大学

## (2) 大学名 久留米大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒830-0011

福岡県久留米市旭町67番地（令和6年度のみ）

〒830-0003

福岡県久留米市東櫛原町777番地3（令和7年度以降）（福岡県久留米市旭町67番地）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナガタ ケンセイ) 永田 見生 (平成29年1月1日)		
学長	(ウチムラ ナオヒサ) 内村 直尚 (令和2年1月1日)		
学部長	(イシタケ タツヤ) 石竹 達也 (令和5年4月1日)		
学科長	(ニシ アキノリ) 西 昭徳 (令和6年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。  
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医学部 医療検査学科 学士(医療検査学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4年	74人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	296人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74	-	-	1.04倍	-	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	257	(-)				
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	254	(-)				
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	173	(-)				
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	77	(-)				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.04	-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。  
 ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、( )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。  
 ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 報告年度に「春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」に「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。  
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。  
 ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。  
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	77	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2 年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3 年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4 年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	77	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した**在学者数、**留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	77 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{77} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医学部 医療検査学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					責任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	心理学	1前	1.5								1		
	久留米・筑後体験演習	1前	2								2		
	スポーツカルチャーを解剖する。	1前	1.5								3		
	観光英語	1前	1.5								1		
	文学	1後	1.5								1		
	歴史学	1後	1.5								1		
	社会学	1後	1.5								1		
	法学	1後	1.5								1		
	健康・スポーツ科学概論	1後	1.5								3		
	文化人類学	1後	1.5								1		
	哲学	1後	1.5								1		
	人文地理学	1後	1.5								1		
	いのちの倫理	1後	1.5								1		
	経済学概論	1後	1.5								1		
	社会心理学	1後	1.5								1		
	英語TOEFL	1後	1.5								1		
	英語(リーディング)	1前・1後	1								1		
	健康・スポーツ科学(実技)	1前・1後	1								1		
	キャリア入門	1前	1								3		
	科学的思考の基礎	基礎医学ディベート	1前	1.5								3	
		論理学	1後	1.5								1	
		数学	1後	1.5								1	
		文献調査法	1後	1.5								1	
学びの基本 I		1前	2			8	4		3		4		
学びの基本 II		1後	1								2		
小計(25科目)	—	6	30.5	0	8	4	0	3	0	35			
専門基礎科目	生命科学・検査原理の基礎	化学	1前	1			1					3	
	物理学	1前	1									2	
	生物学	1前	1									2	
	細菌学	1通	2									3	
	検査機器総論	1通	1			1		2				1	
	医用工学概論	1後	2			1						2	
	医用工学概論実習	2後	1			2	1					1	
	バイオサイエンス基礎	2後	2			1						11	
	人体の構造と機能	肉眼解剖学	1前	1						1			1
		組織解剖学	1前	2			1			1			3
		生理学	1通	2			1						2
		生化学	1通	2									2
		免疫学	1後	1									4
		肉眼解剖学実習	2通	1			2						1
	保健医療福祉とデータを取り扱い	公衆衛生学 I	1後	1									3
		公衆衛生学 II	2後	2									4
		関係法規	3前	1									1
		マネジメントサイエンス基礎 I	1後	1									1
		マネジメントサイエンス基礎 II	2通	1			1						4
		保健医療情報学	2後	1				1					3
		統計学	1後	2			1						2
		データサイエンス基礎 I	2通	2			1						2
	データサイエンス基礎 II	3前	1			1						4	
小計(23科目)	—	32	0	0	6	2	0	2	0	51			

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					責任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	心理学	1前	1.5								1		
	久留米・筑後体験演習(未開講)	1前	2								2		
	スポーツカルチャーを解剖する。	1前	1.5								3		
	観光英語	1前	1.5								1		
	文学	1後	1.5								1		
	歴史学	1後	1.5								1		
	社会学	1後	1.5								1		
	法学	1後	1.5								1		
	健康・スポーツ科学概論	1後	1.5								3		
	文化人類学	1後	1.5								1		
	哲学	1後	1.5								1		
	人文地理学	1後	1.5								1		
	いのちの倫理	1後	1.5								1		
	経済学概論	1後	1.5								1		
	社会心理学	1後	1.5								1		
	英語TOEFL	1後	1.5								1		
	英語(リーディング)	1前・1後	1								1		
	健康・スポーツ科学(実技)	1前・1後	1								1		
	キャリア入門	1前	1								3		
	科学的思考の基礎	基礎医学ディベート	1前	1.5								3	
		論理学	1後	1.5								1	
		数学	1後	1.5								1	
		文献調査法	1後	1.5								1	
学びの基本 I		1前	2				4	3		1	5		
学びの基本 II		1後	1								2		
小計(25科目)	—	6	30.5	0	4	3	0	1	0	38			
専門基礎科目	生命科学・検査原理の基礎	化学	1前	1			1					3	
	物理学	1前	1									2	
	生物学	1前	1									2	
	細菌学	1通	2									3	
	検査機器総論	1通	1			1			1			2	
	医用工学概論	1後	2			1						2	
	医用工学概論実習	2後	1			2	1					1	
	バイオサイエンス基礎	2後	2			1						11	
	人体の構造と機能	肉眼解剖学	1前	1									1
		組織解剖学	1前	2			1				1		4
		生理学	1通	2			1						4
		生化学	1通	2									2
		免疫学	1後	1									4
		肉眼解剖学実習	2通	1			2						1
	保健医療福祉とデータを取り扱い	公衆衛生学 I	1後	1									3
		公衆衛生学 II	2後	2									4
		関係法規	3前	1									1
		マネジメントサイエンス基礎 I	1後	1									1
		マネジメントサイエンス基礎 II	2通	1			1						4
		保健医療情報学	2後	1				1					3
		統計学	1後	2			1						2
		データサイエンス基礎 I	2通	2			1						2
	データサイエンス基礎 II	3前	1			1						4	
小計(23科目)	—	32	0	0	6	2	0	1	0	54			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
病態・病理と疾病	病理学Ⅰ	1後	1			1						
	病理学Ⅱ	2前	1			1						
	病態生理学Ⅰ	1後	1			1						
	病態生理学Ⅱ	2通	1			2						
	血液学	2前	2			1						4
	臨床医学総論Ⅰ	2通	2			1						13
	臨床医学総論Ⅱ	3前	2			2	1					4
	生理検査学Ⅱ	3通	2			1						11
	臨床栄養学	3前	1			1						4
	睡眠医学	3前	1			1	1					8
	臨床病理検討会	3後	1			1						
	薬理学	3後	1			1						3
	臨床検査学・ヘルスサイエンス入門	1後	1			8	4		3			
	医学英語	2前	1			4	1					
	血液検査学	2後	2			1						
	血液検査学実習	2後	2			1	1		1			2
	病理検査学	2通	2			1			1			
	病理検査学実習	2通	2			1			1			
	一般検査学	3通	2			1	2		1			
	一般検査学実習	3通	2			1	2		1		1	
臨床化学検査学Ⅰ	1後	2			1	1		1				
臨床化学検査学Ⅱ	2前	2			1			1				
臨床化学検査学実習	2通	2			1	1		1			3	
免疫学実習	1後	1				2					2	
免疫検査学	3後	1			1	1		1			1	
RI検査学	3前	1			2						3	
遺伝子・染色体検査学	2前	1			1						3	
遺伝子・染色体検査学実習	2前	1			1	1					4	
輸血・移植検査学	3前	2			1	2					1	
輸血・移植検査学実習	3前	1			1			1			1	
微生物検査学実習Ⅰ	1後	1			1			1			3	
微生物検査学	2通	3			2						1	
微生物検査学実習Ⅱ	2通	2			1			3			5	
生理検査学Ⅰ	2通	3			1	1					8	
生理検査学実習	2通	2			5	1					6	
画像検査学Ⅰ	2通	2			1						4	
画像検査学Ⅱ	3後	1			1						5	
検査管理総論	3前	2			3	2					2	
医療安全管理学	3前	1			1						3	
医療安全・検体採取実習	3通	1			4	1		2			2	
薬品管理学	1前	1						2			1	
ゲノム医療・先端医学	3通	1			1						10	
チーム医療演習	4前	1			2	1					2	
臨床実習前技能修得到達度評価	4前	2			2	3		3			3	
臨床実習	4前	11			2	3		3			3	
臨床検査医学特論	4後	4			5	3		3			16	
応用選択コース入門	2後	1			8	4		3			1	
バイオサイエンス応用	3通		6								8	
データサイエンス応用	3通		6		1						3	
マネジメントサイエンス応用Ⅰ	3前		4		1	1					1	
マネジメントサイエンス応用Ⅱ	3前		1		1						2	
マネジメントサイエンス応用Ⅲ	3後		2		1						1	
臨床検査応用	3通		6		6	3		3			2	
卒業研究	4通		2		8	4		3			13	
小計(54科目)	-	-	85	25	0	8	4	0	3	0	125	
合計(102科目)	-	-	123	55.5	0	8	4	0	3	0	184	

卒業要件及び履修方法

「必修科目」は123単位、「選択科目」は基礎科目で3単位以上、専門科目で6単位以上、合計132単位以上修得すること。但し、3年次前期のマネジメントサイエンス応用Ⅰ(4単位)を選択した場合は、マネジメントサイエンス応用Ⅱ(1単位)とマネジメントサイエンス応用Ⅲ(2単位)も併せて修得し、合計133単位以上修得することを卒業要件とする。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
病態・病理と疾病	病理学Ⅰ	1後	1			1						
	病理学Ⅱ	2前	1			1						
	病態生理学Ⅰ	1後	1			1						
	病態生理学Ⅱ	2通	1			2						
	血液学	2前	2			1			1			4
	臨床医学総論Ⅰ	2通	2			1						13
	臨床医学総論Ⅱ	3前	2			2	1					4
	生理検査学Ⅱ	3通	2			1			1			11
	臨床栄養学	3前	1			1						4
	睡眠医学	3前	1			1	1					8
	臨床病理検討会	3後	1			1						
	薬理学	3後	1			1						3
	臨床検査学・ヘルスサイエンス入門	1後	1			8	4		7	4	1	3
	医学英語	2前	1			4	1					
	血液検査学	2後	2			1			1			
	血液検査学実習	2後	2			1	1		1			2
	病理検査学	2通	2			1			1			
	病理検査学実習	2通	2			1			1			
	一般検査学	3通	2			1	2		1			1
	一般検査学実習	3通	2			1	2		1		1	1
臨床化学検査学Ⅰ	1後	2			1	1		1			1	
臨床化学検査学Ⅱ	2前	2			1			1				
臨床化学検査学実習	2通	2			1	1		1			3	
免疫学実習	1後	1				2					2	
免疫検査学	3後	1			1	1		1			1	
RI検査学	3前	1			2			2			3	
遺伝子・染色体検査学	2前	1			1						3	
遺伝子・染色体検査学実習	2前	1			1	1					4	
輸血・移植検査学	3前	2			1	2					1	
輸血・移植検査学実習	3前	1			1			1			1	
微生物検査学実習Ⅰ	1後	1			1			1			4	
微生物検査学	2通	3			2						1	
微生物検査学実習Ⅱ	2通	2			1				3		5	
生理検査学Ⅰ	2通	3			1	1					8	
生理検査学実習	2通	2			5	1					6	
画像検査学Ⅰ	2通	2			1						4	
画像検査学Ⅱ	3後	1			1						5	
検査管理総論	3前	2			3	2					2	
医療安全管理学	3前	1			1						3	
医療安全・検体採取実習	3通	1			4	1		2			2	
薬品管理学	1前	1						2			1	
ゲノム医療・先端医学	3通	1			1						10	
チーム医療演習	4前	1			2	1					2	
臨床実習前技能修得到達度評価	4前	2			2	3		3			3	
臨床実習	4前	11			2	3		3			3	
臨床検査医学特論	4後	4			5	3		3			16	
応用選択コース入門	2後	1			8	4		8	4	3	1	
バイオサイエンス応用	3通		6								8	
データサイエンス応用	3通		6		1						3	
マネジメントサイエンス応用Ⅰ	3前		4		1	1					1	
マネジメントサイエンス応用Ⅱ	3前		1		1						2	
マネジメントサイエンス応用Ⅲ	3後		2		1						1	
臨床検査応用	3通		6		6	3		3			2	
卒業研究	4通		2		8	4		3			13	
小計(54科目)	-	-	85	25	0	8	4	0	7	4	0	128
合計(102科目)	-	-	123	55.5	0	8	4	0	7	4	0	189

卒業要件及び履修方法

「必修科目」は123単位、「選択科目」は基礎科目で3単位以上、専門科目で6単位以上、合計132単位以上修得すること。但し、3年次前期のマネジメントサイエンス応用Ⅰ(4単位)を選択した場合は、マネジメントサイエンス応用Ⅱ(1単位)とマネジメントサイエンス応用Ⅲ(2単位)も併せて修得し、合計133単位以上修得することを卒業要件とする。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
  - ・ 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
- (例: 記載順) 【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和2年度】(旧)→【令和1年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和6年度】**

- ・「学びの基本1」の令和6年度の専任教員等の配置を「教授8・准教授4・助教3、兼任・兼任4」から「教授4・准教授3・助教1、兼任・兼任5」に変更。なお、助教1名については、令和8年4月就任予定のため、兼任としてカウント。令和6年度の担当教員自体は、申請内容（「授業科目の概要」）から変更はなく、当初の予定どおりに遂行できている。本科目の担当者は毎年同一ではなく年度によって一部異なるため、申請時には、「授業科目の概要」にその点を明記した上で「教育課程等の概要」には完成年度までに担当する全教員の数を、完成年度における所属と職位を用いて記載。そのため、令和6年度の担当者数に限って、当該年度の所属と職位に応じて変更。
- ・兼任教員の就任辞退により、「物理学」の兼任・兼任の配置を「3」から「2」に変更。
- ・「検査機器総論」の担当教員のうち、助教1名については令和8年4月就任予定のため、兼任としてカウント。令和6年度の専任教員等の配置を「教授1・助教2、兼任・兼任1」から「教授1・助教1、兼任・兼任2」に変更。
- ・担当者追加により、「組織解剖学」の兼任・兼任の配置を「3」から「4」に変更。
- ・担当者追加により、「生理学」の兼任・兼任の配置を「2」から「4」に変更。
- ・「臨床検査学・ヘルスサイエンス入門」の担当教員のうち、教授1名及び助教2名については、令和8年4月就任予定のため、兼任・兼任としてカウント。令和6年度の専任教員等の配置を「教授8・准教授4・助教3」から「教授7・准教授4・助教1、兼任・兼任3」に変更。
- ・「臨床化学検査学Ⅰ」の担当教員のうち、助教1名については令和8年4月就任予定のため、兼任としてカウント。令和6年度の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・助教1」から「教授1・准教授1、兼任・兼任1」に変更。
- ・「微生物検査学実習Ⅰ」の担当教員のうち、助教1名については令和8年4月就任予定のため、兼任としてカウント。令和6年度の専任教員等の配置を「教授1・助教1、兼任・兼任3」から「教授1、兼任・兼任4」に変更。
- ・「薬品管理学」の担当教員のうち、助教1名については令和8年4月就任予定のため、兼任としてカウント。令和6年度の専任教員等の配置を「助教2、兼任・兼任1」から「助教1、兼任・兼任2」に変更。
- ・上記の変更に伴い、科目区分ごとの人数の小計及び合計を変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
76 科目	26 科目	0 科目	102 科目	76 科目 [ 0 ]	26 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	102 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{102} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考				
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	<大学全体> 共用及び共用する他の 学校等の専用土地は完 成年度に0㎡となり専 用となる。  令和5年度旭町地区地 積錯誤保存登記により 校舎敷地（専用）の面 積変更（-0.85㎡）及 び令和5年度新規寄附 によりその他（専用） の面積変更（+950.99 ㎡）（6）				
	校 舎 敷 地	207,299.45 ㎡ <del>207,300.30 ㎡</del>	2,175.88 ㎡	675.04 ㎡	210,150.37 ㎡ <del>210,151.22 ㎡</del>					
	運 動 場 用 地	68,586.00 ㎡	32,465.00 ㎡	0 ㎡	101,051.00 ㎡					
	小 計	275,885.45 ㎡ <del>275,886.30 ㎡</del>	34,640.88 ㎡	675.04 ㎡	311,201.37 ㎡ <del>311,202.22 ㎡</del>					
	そ の 他	213,172.89 ㎡ <del>212,221.90 ㎡</del>	0 ㎡	0 ㎡	213,172.89 ㎡ <del>212,221.90 ㎡</del>					
	合 計	489,058.34 ㎡ <del>488,108.19 ㎡</del>	34,640.88 ㎡	675.04 ㎡	524,374.26 ㎡ <del>523,424.12 ㎡</del>					
(2) 校 舎	専 用	149,446.55 ㎡ (136,600.19 ㎡)	共 用	0.00 ㎡ (2,838.18 ㎡)	共用する他の 学校等の専用	0.00 ㎡ (3,025.65 ㎡)	計	149,446.55 ㎡ (142,464.02 ㎡)		
	講 義 室	12 室	演 習 室	2 室	実験実習室	14 室	情報処理学習施設	4 室 (補助職員 0 人)	語学学習施設	0 室 (補助職員 0 人)
(3) 教 室 等	新設学部等の名称				室 数					
(4) 専任教員研究室	医学部 医療検査学科				12 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本			
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル						
		冊	種	〔うち外国書〕				点	点	点
		医学部 医療検査学科	44,399 [5,513] <del>43,940 [5,486]</del> (44,399 [5,513]) <del>(43,940 [5,486])</del>	4,027 [2,256] <del>3,657 [2,017]</del> (4,027 [2,256]) <del>(3,657 [2,017])</del>				2,987 [1,318] (2,987 [1,318])	326 <del>286</del> 326 <del>286</del>	2,202 <del>2,162</del> (721)
計	44,399 [5,513] <del>43,940 [5,486]</del> (44,399 [5,513]) <del>(43,940 [5,486])</del>	4,027 [2,256] <del>3,657 [2,017]</del> (4,027 [2,256]) <del>(3,657 [2,017])</del>	2,987 [1,318] (2,987 [1,318])	326 <del>286</del> 326 <del>286</del>	2,202 <del>2,162</del> (721)	2 (2)				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	2838.18 ㎡		226		384,250					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要							
	2009.66 ㎡		ソフトボール場1面、テニスコート12面地							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費：開設前年度納入予定図書の一部を開設年度納入へ変更したため（6） 設備購入費：開設前年度納入予定機器の一部を開設年度納入へ変更したため（6）	
		教員1人当り研究費等	732千円	678千円	図書購入費	1,009千円 <del>1,036千円</del>	6,508千円 <del>6,481千円</del>	6,481千円		
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	125,962千円 <del>127,843千円</del>	188,978千円 <del>187,097千円</del>	600千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		1,630千円	1,330千円	1,330千円	1,330千円	—千円	—千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学経常費補助金、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	久留米大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
医学部	-	299	-	1,204	-	1.07	1.03	-	昭和27	-				
医療検査学科	4	74	-	74	学士(医療検査学)	1.04	-	令和6	令和6	福岡県久留米市旭町67番地				
医学科	6	115	-	690	学士(医学)	1.07	1.01	令和6	昭和27	同上				
看護学科	4	110	-	440	学士(看護学)	1.07	1.06	-	平成6	福岡県久留米市東藤原町777番地1				
文学部	4	299	3年次5	1,206	-	1.06	1.04	-	平成4	-				
心理学科	4	87	3年次1	350	学士(心理学)	1.08	1.06	-	平成14	福岡県久留米市御井町1635番地				
情報社会学科	4	54	3年次1	218	学士(社会学)	0.98	-	-	平成14	同上				
国際文化学科	4	106	3年次2	428	学士(文学)	1.12	1.09	-	平成4	同上				
社会福祉学科	4	52	3年次1	210	学士(社会福祉学)	1.00	-	-	平成12	同上				
人間健康学部	4	120	-	480	-	1.09	1.07	-	平成29	-				
総合子ども学科	4	50	-	200	学士(教育学)	1.05	1.04	-	平成29	福岡県久留米市御井町1635番地				
スポーツ医科学科	4	70	-	280	学士(スポーツ医科学)	1.12	1.09	-	平成29	同上				
法学部	4	294	3年次4	1,184	-	0.99	-	-	昭和62	-				
法律学科	4	224	3年次4	904	学士(法学)	0.99	-	-	昭和62	福岡県久留米市御井町1635番地				
国際政治学科	4	70	-	280	学士(法学)	1.00	-	-	平成6	同上				
経済学部	4	257	3年次4	1,036	-	1.11	1.06	-	平成6	-				
経済学科	4	157	3年次2	632	学士(経済学)	1.11	1.08	-	平成6	福岡県久留米市御井町1635番地				
文化経済学科	4	100	3年次2	404	学士(経済学)	1.10	1.04	-	平成14	同上				
商学部	4	250	-	1,000	-	1.11	1.09	-	昭和25	-				
商学科	4	250	-	1,000	学士(商学)	1.11	1.09	-	昭和25	福岡県久留米市御井町1635番地				
大学全体	-	1,519	3年次13	6,110	-	-	-	-	-	-				

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。  
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。  
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を赤字にする必要はありません。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。  
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

## 5 教員組織の状況

<医学部 医療検査学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西 昭徳 (65) <令和8年4月> 博士(医学)、Ph.D. スウェーデン
		学びの基本Ⅰ 病態生理学Ⅱ□ 臨床医学総論Ⅱ 薬理学 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 医学英語 生理検査学実習 医療安全・検体採取実習 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究 RI検査学
		西 昭徳 (63) <令和6年4月> 博士(医学)、Ph.D. スウェーデン
兼任	教授	病態生理学Ⅱ 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 医学英語 生理検査学実習 応用選択コース入門
専	教授	有永 照子 (60) <令和6年4月> 博士(医学)
		学びの基本Ⅰ 臨床医学総論Ⅰ 臨床栄養学 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 医学英語 臨床化学検査学Ⅱ 生理検査学実習 画像検査学Ⅱ 医療安全管理学 医療安全・検体採取実習 チーム医療演習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 マネジメントサイエンス応用Ⅰ 臨床検査応用 卒業研究 画像検査学Ⅰ 血液検査学実習 輸血・移植検査学
		西 昭徳 (63) <令和6年4月> 博士(医学)、Ph.D. スウェーデン

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西 昭徳 (65) <令和8年4月> 博士(医学)、Ph.D. スウェーデン
		学びの基本Ⅰ 病態生理学Ⅱ□ 臨床医学総論Ⅱ 薬理学 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 医学英語 生理検査学実習 医療安全・検体採取実習 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究 RI検査学
		西 昭徳 (63) <令和6年4月> 博士(医学)、Ph.D. スウェーデン
兼任	教授	病態生理学Ⅱ 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 医学英語 生理検査学実習 応用選択コース入門
専	教授	有永 照子 (60) <令和6年4月> 博士(医学)
		学びの基本Ⅰ 臨床医学総論Ⅰ 臨床栄養学 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 医学英語 臨床化学検査学Ⅱ 生理検査学実習 画像検査学Ⅱ 医療安全管理学 医療安全・検体採取実習 チーム医療演習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 マネジメントサイエンス応用Ⅰ 臨床検査応用 卒業研究 画像検査学Ⅰ 血液検査学実習 輸血・移植検査学
		西 昭徳 (63) <令和6年4月> 博士(医学)、Ph.D. スウェーデン

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	武谷 三恵 (54) <令和6年4月> 博士(医学)
		学びの基本Ⅰ 医用工学概論実習 生理学 肉眼解剖学実習 病態生理学Ⅰ 病態生理学Ⅱ 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 医学英語 微生物検査学 生理検査学実習 検査管理総論 医療安全・検体採取実習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究
専	教授	真田 咲子 (47) <令和6年4月> 博士(医学)
		学びの基本Ⅰ 組織解剖学 肉眼解剖学実習 病理学Ⅰ 病理学Ⅱ 臨床医学総論Ⅱ 臨床病理検討会 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 医学英語 病理検査学 病理検査学実習 免疫検査学 遺伝子・染色体検査学 生理検査学実習 ゲノム医療・先端医学 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究 一般検査学 一般検査学実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	武谷 三恵 (54) <令和6年4月> 博士(医学)
		学びの基本Ⅰ 医用工学概論実習 生理学 肉眼解剖学実習 病態生理学Ⅰ 病態生理学Ⅱ 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 医学英語 微生物検査学 生理検査学実習 検査管理総論 医療安全・検体採取実習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究
専	教授	真田 咲子 (47) <令和6年4月> 博士(医学)
		学びの基本Ⅰ 組織解剖学 肉眼解剖学実習 病理学Ⅰ 病理学Ⅱ 臨床医学総論Ⅱ 臨床病理検討会 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 医学英語 病理検査学 病理検査学実習 免疫検査学 遺伝子・染色体検査学 生理検査学実習 ゲノム医療・先端医学 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究 一般検査学 一般検査学実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	棚町 千代子 (58) <令和6年4月> 博士(医学)
		学びの基本Ⅰ 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 微生物検査学実習Ⅰ 微生物検査学 微生物検査学実習Ⅱ 検査管理総論 医療安全・検体採取実習 チーム医療演習 臨地実習前技能修得到達度評価 臨地実習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究
		真茅 孝志 (52) <令和6年4月> 博士(医学)
専	教授	真茅 孝志 (52) <令和6年4月> 博士(医学)
		学びの基本Ⅰ 検査機器総論 医用工学概論 医用工学概論実習 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 生理検査学Ⅰ 生理検査学実習 検査管理総論 臨地実習前技能修得到達度評価 臨地実習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究
		室谷 健太 (43) <令和6年4月> 博士(医学バイオ統計学)
専	教授	室谷 健太 (43) <令和6年4月> 博士(医学バイオ統計学)
		学びの基本Ⅰ 統計学 データサイエンス基礎Ⅰ データサイエンス基礎Ⅱ 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 応用選択コース入門 データサイエンス応用 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	棚町 千代子 (58) <令和6年4月> 博士(医学)
		学びの基本Ⅰ 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 微生物検査学実習Ⅰ 微生物検査学 微生物検査学実習Ⅱ 検査管理総論 医療安全・検体採取実習 チーム医療演習 臨地実習前技能修得到達度評価 臨地実習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究
		真茅 孝志 (52) <令和6年4月> 博士(医学)
専	教授	真茅 孝志 (52) <令和6年4月> 博士(医学)
		学びの基本Ⅰ 検査機器総論 医用工学概論 医用工学概論実習 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 生理検査学Ⅰ 生理検査学実習 検査管理総論 臨地実習前技能修得到達度評価 臨地実習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究
		室谷 健太 (43) <令和6年4月> 博士(医学バイオ統計学)
専	教授	室谷 健太 (43) <令和6年4月> 博士(医学バイオ統計学)
		学びの基本Ⅰ 統計学 データサイエンス基礎Ⅰ データサイエンス基礎Ⅱ 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 応用選択コース入門 データサイエンス応用 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	伴 匡人 (47) <令和6年4月> 博士(理学)
		学びの基本 I 化学 バイオサイエンス基礎 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 臨床化学検査学 I 臨床化学検査学実習 遺伝子・染色体検査学実習 応用選択コース入門 バイオサイエンス応用 卒業研究 RI検査学
専	准教授	八木 朝子 (56) <令和6年4月> 修士(学術)
		学びの基本 I 医用工学概論実習 生理検査学 II 睡眠医学 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 生理検査学 I 生理検査学実習 検査管理総論 チーム医療演習 臨地実習前技能修得到達度評価 臨地実習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究
専	准教授	関 律子 (52) <令和6年4月> 博士(医学)
		学びの基本 I 血液学 臨床医学総論 II 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 医学英語 血液検査学 血液検査学実習 一般検査学 一般検査学実習 免疫学実習 遺伝子・染色体検査学実習 輸血・移植検査学 医療安全・検体採取実習 臨地実習前技能修得到達度評価 臨地実習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	伴 匡人 (47) <令和6年4月> 博士(理学)
		学びの基本 I 化学 バイオサイエンス基礎 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 臨床化学検査学 I 臨床化学検査学実習 遺伝子・染色体検査学実習 応用選択コース入門 バイオサイエンス応用 卒業研究 RI検査学
専	准教授	八木 朝子 (56) <令和6年4月> 修士(学術)
		学びの基本 I 医用工学概論実習 生理検査学 II 睡眠医学 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 生理検査学 I 生理検査学実習 検査管理総論 チーム医療演習 臨地実習前技能修得到達度評価 臨地実習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究
専	准教授	関 律子 (52) <令和6年4月> 博士(医学)
		学びの基本 I 血液学 臨床医学総論 II 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 医学英語 血液検査学 血液検査学実習 一般検査学 一般検査学実習 免疫学実習 遺伝子・染色体検査学実習 輸血・移植検査学 医療安全・検体採取実習 臨地実習前技能修得到達度評価 臨地実習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田代 恭子 (51) <令和6年4月> 博士(医学)
		学びの基本Ⅰ 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 一般検査学 一般検査学実習 臨床化学検査学Ⅰ 臨床化学検査学実習 免疫学実習 免疫検査学 輸血・移植検査学 輸血・移植検査学実習 検査管理総論 臨地実習前技能修得到達度評価 臨地実習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究
		小原 仁 (50) <令和6年4月> 博士(医学バイオ統計学)
専	准教授	小原 仁 (50) <令和6年4月> 博士(医学バイオ統計学)
		学びの基本Ⅰ マネジメントサイエンス基礎Ⅱ 保健医療情報学 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 応用選択コース入門 マネジメントサイエンス応用Ⅰ マネジメントサイエンス応用Ⅱ マネジメントサイエンス応用Ⅲ 卒業研究
専	助教	吉野 千代 (57) <令和8年4月> 修士(医科学)
		学びの基本Ⅰ 検査機器総論 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 臨床化学検査学Ⅰ 臨床化学検査学Ⅱ 臨床化学検査学実習 免疫検査学 微生物検査学実習Ⅱ 医療安全・検体採取実習 薬品管理学 臨地実習前技能修得到達度評価 臨地実習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田代 恭子 (51) <令和6年4月> 博士(医学)
		学びの基本Ⅰ 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 一般検査学 一般検査学実習 臨床化学検査学Ⅰ 臨床化学検査学実習 免疫学実習 免疫検査学 輸血・移植検査学 輸血・移植検査学実習 検査管理総論 臨地実習前技能修得到達度評価 臨地実習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究
		小原 仁 (51) <令和6年4月> 博士(医学バイオ統計学)
専	准教授	小原 仁 (51) <令和6年4月> 博士(医学バイオ統計学)
		学びの基本Ⅰ マネジメントサイエンス基礎Ⅱ 保健医療情報学 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 応用選択コース入門 マネジメントサイエンス応用Ⅰ マネジメントサイエンス応用Ⅱ マネジメントサイエンス応用Ⅲ 卒業研究
専	助教	吉野 千代 (57) <令和8年4月> 修士(医科学)
		学びの基本Ⅰ 検査機器総論 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 臨床化学検査学Ⅰ 臨床化学検査学Ⅱ 臨床化学検査学実習 免疫検査学 微生物検査学実習Ⅱ 医療安全・検体採取実習 薬品管理学 臨地実習前技能修得到達度評価 臨地実習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉野 千代 (55) <令和6年4月> 修士(医科学)
		学びの基本Ⅰ 検査機器総論 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 臨床化学検査学Ⅰ 臨床化学検査学Ⅱ 臨床化学検査学実習 微生物検査学実習Ⅱ 薬品管理学 応用選択コース入門
専	助教	糸山 貴子 (55) <令和8年4月> 修士(医科学)
		学びの基本Ⅰ 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 一般検査学 一般検査学実習 輸血・移植検査学実習 微生物検査学実習Ⅰ 微生物検査学実習Ⅱ 医療安全・検体採取実習 臨地実習前技能修得到達度評価 臨地実習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究 血液検査学実習
兼任	講師	糸山 貴子 (53) <令和6年4月> 修士(医科学)
		学びの基本Ⅰ 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 血液検査学実習 微生物検査学実習Ⅰ 微生物検査学実習Ⅱ 応用選択コース入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉野 千代 (56) <令和6年4月> 修士(医科学)
		学びの基本Ⅰ 検査機器総論 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 臨床化学検査学Ⅰ 臨床化学検査学Ⅱ 臨床化学検査学実習 微生物検査学実習Ⅱ 薬品管理学 応用選択コース入門
専	助教	糸山 貴子 (55) <令和8年4月> 修士(医科学)
		学びの基本Ⅰ 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 一般検査学 一般検査学実習 輸血・移植検査学実習 微生物検査学実習Ⅰ 微生物検査学実習Ⅱ 医療安全・検体採取実習 臨地実習前技能修得到達度評価 臨地実習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究 血液検査学実習
兼任	講師	糸山 貴子 (53) <令和6年4月> 修士(医科学)
		学びの基本Ⅰ 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 血液検査学実習 微生物検査学実習Ⅰ 微生物検査学実習Ⅱ 応用選択コース入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	福満 千容 (36) <令和6年4月> 学士(生命科学)
		学びの基本Ⅰ 検査機器総論 組織解剖学 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 病理検査学 病理検査学実習 微生物検査学実習Ⅱ 薬品管理学 臨地実習前技能修得到達度評価 臨地実習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究
兼任	教授	内村 直尚 (69) <令和8年4月> 医学博士
		ゲノム医療・先端医学
兼任	教授	野田 耕 (52) <令和6年4月> 博士(体育科学)
		スポーツカルチャーを解剖する。
兼任	教授	吉田 典子 (64) <令和6年4月> 博士(医学)
		健康・スポーツ科学概論
兼任	教授	右田 孝志 (60) <令和6年4月> 博士(学術)
		健康・スポーツ科学概論
兼任	教授	東元 祐一郎 (53) <令和6年4月> 博士(理学)
		基礎医学ディベート

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	福満 千容 (36) <令和6年4月> <b>博士(医学)</b>
		学びの基本Ⅰ 検査機器総論 組織解剖学 臨床検査学・ヘルスサイエンス入門 病理検査学 病理検査学実習 微生物検査学実習Ⅱ 薬品管理学 臨地実習前技能修得到達度評価 臨地実習 臨床検査医学特論 応用選択コース入門 臨床検査応用 卒業研究
兼任	教授	内村 直尚 (69) <令和8年4月> 医学博士
		ゲノム医療・先端医学
兼任	教授	野田 耕 (52) <令和6年4月> 博士(体育科学)
		スポーツカルチャーを解剖する。
兼任	教授	<b>榎本 美佳 (54) &lt;令和6年4月&gt; 博士(医学)</b>
		<b>健康・スポーツ科学概論</b>
兼任	教授	右田 孝志 (60) <令和6年4月> 博士(学術)
		健康・スポーツ科学概論
兼任	教授	東元 祐一郎 (53) <令和6年4月> 博士(理学)
		基礎医学ディベート

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	古賀 浩徳 (61) <令和6年4月> 博士(医学)
		基礎医学ディベート 臨床医学総論Ⅱ
兼任	教授	安永 悟 (68) <令和6年4月> 博士(教育心理学)
		学びの基本Ⅰ 学びの基本Ⅱ
兼任	教授	渡部 功一 (55) <令和6年4月> 博士(医学)
		学びの基本Ⅰ
兼任	教授	長澤 真樹子 (51) <令和6年4月> 博士(理学)
		物理学
兼任	教授	小椋 義俊 (49) <令和6年4月> 博士(バイオサイエンス)
		細菌学 ゲノム医療・先端医学
兼任	教授	太田 啓介 (55) <令和6年4月> 博士(医学)
		組織解剖学 検査機器総論 ゲノム医療・先端医学
兼任	教授	齋藤 成昭 (53) <令和7年4月> 博士(理学)
		遺伝子・染色体検査学実習 バイオサイエンス基礎 バイオサイエンス応用 卒業研究
兼任	教授	鷹野 誠 (65) <令和6年4月> 博士(医学)
		生理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	古賀 浩徳 (61) <令和6年4月> 博士(医学)
		基礎医学ディベート 臨床医学総論Ⅱ
兼任	教授	安永 悟 (69) <令和6年4月> 博士(教育心理学)
		学びの基本Ⅰ 学びの基本Ⅱ
兼任	教授	渡部 功一 (55) <令和6年4月> 博士(医学)
		学びの基本Ⅰ
兼任	教授	長澤 真樹子 (51) <令和6年4月> 博士(理学)
		物理学
兼任	教授	小椋 義俊 (49) <令和6年4月> 博士(バイオサイエンス)
		細菌学 ゲノム医療・先端医学
兼任	教授	太田 啓介 (55) <令和6年4月> 博士(医学)
		組織解剖学 検査機器総論 ゲノム医療・先端医学
兼任	教授	齋藤 成昭 (53) <令和7年4月> 博士(理学)
		遺伝子・染色体検査学実習 バイオサイエンス基礎 バイオサイエンス応用 卒業研究
兼任	講師	鷹野 誠 (65) <令和6年4月> 博士(医学)
		生理学
兼任	教授	吉田 史章 (50) <令和6年4月> 博士(医学)
		生理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	溝口 充志 (62) <令和6年4月> 博士(医学)
		免疫学
兼任	教授	溝口 恵美子 (59) <令和6年4月> 博士(医学)
		免疫学
兼任	教授	嵯峨 堅 (58) <令和7年4月> 博士(水産学)、博士(医学)
		肉眼解剖学実習
兼任	教授	谷原 真一 (57) <令和7年4月> 博士(医学)
		公衆衛生学Ⅱ マネジメントサイエンス基礎Ⅱ 臨床検査医学特論
兼任	教授	牛島 高介 (63) <令和6年4月> 博士(医学)
		マネジメントサイエンス基礎Ⅰ
兼任	教授	佐藤 敏信 (67) <令和7年4月> 医学博士、博士(公衆衛生)
		マネジメントサイエンス基礎Ⅱ
兼任	教授	古川 恭治 (55) <令和6年4月> Ph.D. アメリカ
		統計学 データサイエンス基礎Ⅱ データサイエンス応用 卒業研究
兼任	教授	穴澤 務 (60) <令和7年4月> 博士(理学)
		データサイエンス基礎Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中島 則行 (43) <令和6年4月> 博士(医学)
		生理学
兼任	教授	溝口 充志 (62) <令和6年4月> 博士(医学)
		免疫学
兼任	教授	溝口 恵美子 (59) <令和6年4月> 博士(医学)
		免疫学
兼任	教授	嵯峨 堅 (58) <令和7年4月> 博士(水産学)、博士(医学)
		肉眼解剖学実習
兼任	教授	谷原 真一 (57) <令和7年4月> 博士(医学)
		公衆衛生学Ⅱ マネジメントサイエンス基礎Ⅱ 臨床検査医学特論
兼任	教授	牛島 高介 (63) <令和6年4月> 博士(医学)
		マネジメントサイエンス基礎Ⅰ
兼任	教授	佐藤 敏信 (67) <令和7年4月> 医学博士、博士(公衆衛生)
		マネジメントサイエンス基礎Ⅱ
兼任	教授	古川 恭治 (55) <令和6年4月> Ph.D. アメリカ
		統計学 データサイエンス基礎Ⅱ データサイエンス応用 卒業研究
兼任	教授	穴澤 務 (60) <令和7年4月> 博士(理学)
		データサイエンス基礎Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	岡部 義信 (56) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論Ⅰ
兼任	教授	野村 政壽 (62) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論Ⅰ
兼任	教授	星野 友昭 (60) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論Ⅱ 遺伝子・染色体検査学
兼任	教授	松瀬 博夫 (50) <令和8年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論Ⅱ 臨床栄養学
兼任	教授	小曾根 基裕 (61) <令和8年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅱ 睡眠医学
兼任	教授	小路 純央 (59) <令和8年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅱ
兼任	教授	川口 巧 (55) <令和8年4月> 博士(医学)
		臨床栄養学
兼任	教授	加治 建 (63) <令和8年4月> 博士(医学)
		臨床栄養学
兼任	教授	川山 智隆 (60) <令和8年4月> 博士(医学)
		睡眠医学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	岡部 義信 (56) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論Ⅰ
兼任	教授	野村 政壽 (62) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論Ⅰ
兼任	教授	星野 友昭 (60) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論Ⅱ 遺伝子・染色体検査学
兼任	教授	松瀬 博夫 (50) <令和8年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論Ⅱ 臨床栄養学
兼任	教授	小曾根 基裕 (61) <令和8年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅱ 睡眠医学
兼任	教授	小路 純央 (59) <令和8年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅱ
兼任	教授	川口 巧 (55) <令和8年4月> 博士(医学)
		臨床栄養学
兼任	教授	加治 建 (63) <令和8年4月> 博士(医学)
		臨床栄養学
兼任	教授	川山 智隆 (60) <令和8年4月> 博士(医学)
		睡眠医学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	渡邊 順子 (63) <令和7年4月> 博士(医学)
		遺伝子・染色体検査学 ゲノム医療・先端医学
兼任	教授	高須 修 (59) <令和7年4月> 博士(医学)
		生理検査学実習
兼任	教授	黒松 亮子 (63) <令和7年4月> 博士(医学)
		画像検査学 I
兼任	教授	内山 雄介 (61) <令和8年4月> 博士(医学)
		画像検査学 II
兼任	教授	渡邊 浩 (65) <令和8年4月> 博士(医学)
		医療安全管理学
兼任	教授	横山 晋二 (57) <令和8年4月> 博士(医学)
		医療安全管理学
兼任	教授	山本 健 (62) <令和8年4月> 博士(医学)
		ゲノム医療・先端医学
兼任	教授	秋葉 純 (55) <令和8年4月> 博士(医学)
		ゲノム医療・先端医学
兼任	教授	益守 かづき (62) <令和9年4月> 博士(看護学)
		チーム医療演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	渡邊 順子 (63) <令和7年4月> 博士(医学)
		遺伝子・染色体検査学 ゲノム医療・先端医学
兼任	教授	高須 修 (59) <令和7年4月> 博士(医学)
		生理検査学実習
兼任	教授	黒松 亮子 (63) <令和7年4月> 博士(医学)
		画像検査学 I
兼任	教授	内山 雄介 (61) <令和8年4月> 博士(医学)
		画像検査学 II
兼任	教授	渡邊 浩 (65) <令和8年4月> 博士(医学)
		医療安全管理学
兼任	教授	横山 晋二 (57) <令和8年4月> 博士(医学)
		医療安全管理学
兼任	教授	山本 健 (62) <令和8年4月> 博士(医学)
		ゲノム医療・先端医学
兼任	教授	秋葉 純 (55) <令和8年4月> 博士(医学)
		ゲノム医療・先端医学
兼任	教授	益守 かづき (62) <令和9年4月> 博士(看護学)
		チーム医療演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	行實 鉄平 (48) ＜令和6年4月＞ 修士(体育学)
		スポーツカルチャーを解剖する。
兼任	准教授	大橋 充典 (38) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		スポーツカルチャーを解剖する。
兼任	准教授	藺田 史 (43) ＜令和6年4月＞ 修士(法学)
		法学
兼任	准教授	井上 寛規 (39) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		経済学概論
兼任	准教授	酒井 佳代 (58) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		キャリア入門 チーム医療演習
兼任	准教授	浅野 良輔 (39) ＜令和6年4月＞ 博士(心理学)
		社会心理学
兼任	准教授	首藤 隆秀 (47) ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		基礎医学ディベート 薬理学
兼任	准教授	小松 誠和 (50) ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		学びの基本 I 免疫学 免疫学実習
兼任	准教授	大沼 雅明 (61) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		生物学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	行實 鉄平 (48) ＜令和6年4月＞ 修士(体育学)
		スポーツカルチャーを解剖する。
兼任	准教授	大橋 充典 (38) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		スポーツカルチャーを解剖する。
兼任	准教授	藺田 史 (44) ＜令和6年4月＞ 修士(法学)
		法学
兼任	准教授	井上 寛規 (39) ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		経済学概論
兼任	准教授	酒井 佳世 (58) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		キャリア入門 チーム医療演習
兼任	准教授	浅野 良輔 (39) ＜令和6年4月＞ 博士(心理学)
		社会心理学
兼任	准教授	首藤 隆秀 (47) ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		基礎医学ディベート 薬理学
兼任	准教授	小松 誠和 (50) ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		学びの基本 I 免疫学 免疫学実習
兼任	准教授	大沼 雅明 (61) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		生物学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	在澤 英俊 (50) <令和7年4月> 修士(法学)
		バイオサイエンス基礎
兼任	准教授	富吉 満之 (45) <令和7年4月> 博士(地球環境学)
		バイオサイエンス基礎
兼任	准教授	塩澤 誠司 (47) <令和7年4月> 博士(医学)
		バイオサイエンス基礎 バイオサイエンス応用 卒業研究
兼任	准教授	佐藤 貴弘 (51) <令和7年4月> 博士(農学)
		バイオサイエンス基礎 バイオサイエンス応用 卒業研究
兼任	准教授	菊池 清志 (52) <令和6年4月> 博士(医学)
		生理学
兼任	准教授	佐藤 秀明 (53) <令和6年4月> 博士(理学)
		生化学
兼任	准教授	杉島 正一 (47) <令和6年4月> 博士(理学)
		生化学
兼任	准教授	森松 嘉孝 (55) <令和6年4月> 博士(医学)
		公衆衛生学Ⅰ
兼任	准教授	中尾 元幸 (46) <令和7年4月> 博士(農学)
		公衆衛生学Ⅱ 臨床検査医学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	在澤 英俊 (50) <令和7年4月> 修士(法学)
		バイオサイエンス基礎
兼任	准教授	富吉 満之 (45) <令和7年4月> 博士(地球環境学)
		バイオサイエンス基礎
兼任	教授	塩澤 誠司 (47) <令和7年4月> 博士(医学)
		バイオサイエンス基礎 バイオサイエンス応用 卒業研究
兼任	教授	佐藤 貴弘 (51) <令和7年4月> 博士(農学)
		バイオサイエンス基礎 バイオサイエンス応用 卒業研究
兼任	准教授	菊池 清志 (52) <令和6年4月> 博士(医学)
		生理学
兼任	准教授	佐藤 秀明 (53) <令和6年4月> 博士(理学)
		生化学
兼任	准教授	杉島 正一 (47) <令和6年4月> 博士(理学)
		生化学
兼任	准教授	森松 嘉孝 (55) <令和6年4月> 博士(医学)
		公衆衛生学Ⅰ
兼任	准教授	中尾 元幸 (46) <令和7年4月> 博士(農学)
		公衆衛生学Ⅱ 臨床検査医学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	宮本 貴宣 (50) <令和7年4月> 博士(工学)
		保健医療情報学 マネジメントサイエンス応用Ⅱ
兼任	准教授	大山 哲司 (45) <令和6年4月> 博士(医学バイオ統計学)
		統計学 データサイエンス基礎Ⅱ データサイエンス応用 卒業研究
兼任	准教授	加藤 淳一 (53) <令和8年4月> 博士(商学)
		データサイエンス基礎Ⅱ
兼任	准教授	三好 寛明 (44) <令和7年4月> 博士(医学)
		血液学
兼任	准教授	大園 秀一 (54) <令和7年4月> 博士(医学)
		血液学
兼任	准教授	蘆田 健二 (57) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論Ⅰ
兼任	准教授	中村 徹 (53) <令和8年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論Ⅱ
兼任	准教授	安元 眞吾 (53) <令和7年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅱ 生理検査学Ⅰ
兼任	准教授	山田 圭 (58) <令和8年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅱ 臨床検査医学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	宮本 貴宣 (50) <令和7年4月> 博士(工学)
		保健医療情報学 マネジメントサイエンス応用Ⅱ
兼任	准教授	大山 哲司 (45) <令和6年4月> 博士(医学バイオ統計学)
		統計学 データサイエンス基礎Ⅱ データサイエンス応用 卒業研究
兼任	准教授	加藤 淳一 (53) <令和8年4月> 博士(商学)
		データサイエンス基礎Ⅱ
兼任	准教授	三好 寛明 (44) <令和7年4月> 博士(医学)
		血液学
兼任	准教授	大園 秀一 (54) <令和7年4月> 博士(医学)
		血液学
兼任	准教授	蘆田 健二 (57) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論Ⅰ
兼任	准教授	中村 徹 (53) <令和8年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論Ⅱ
兼任	准教授	安元 眞吾 (53) <令和7年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅱ 生理検査学Ⅰ
兼任	准教授	山田 圭 (58) <令和8年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅱ 臨床検査医学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	柏木 孝仁 (53) <令和7年4月> 博士(理学)
		微生物検査学 微生物検査学実習Ⅱ 臨床検査医学特論
兼任	准教授	長田 周治 (54) <令和8年4月> 博士(医学)
		画像検査学Ⅱ
兼任	准教授	石井 文人 (52) <令和8年4月> 博士(医学)
		医療安全管理学
兼任	准教授	恒松 佳代子 (55) <令和8年4月> 修士(看護学)
		医療安全・検体採取実習
兼任	准教授	岡村 尚昌 (48) <令和8年4月> 博士(心理学)、博士(医学)
		臨床検査応用 卒業研究
兼任	講師	藤本 晃嗣 (40) <令和6年4月> 博士(比較社会文化)
		文学
兼任	講師	奥野 真由 (39) <令和6年4月> 修士(スポーツ科学)
		健康・スポーツ科学概論
兼任	講師	崎田 誠志郎 (34) <令和6年4月> 博士(地理学)
		人文地理学
兼任	講師	玉岡 兼治 (64) <令和6年4月> 修士(人文学)
		文献調査法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	柏木 孝仁 (53) <令和7年4月> 博士(理学)
		微生物検査学 微生物検査学実習Ⅱ 臨床検査医学特論
兼任	准教授	長田 周治 (54) <令和8年4月> 博士(医学)
		画像検査学Ⅱ
兼任	准教授	石井 文人 (52) <令和8年4月> 博士(医学)
		医療安全管理学
兼任	准教授	恒松 佳代子 (55) <令和8年4月> <b>博士(医学)</b>
		医療安全・検体採取実習
兼任	准教授	岡村 尚昌 (48) <令和8年4月> 博士(心理学)、博士(医学)
		臨床検査応用 卒業研究
兼任	講師	藤本 晃嗣 (40) <令和6年4月> 博士(比較社会文化)
		文学
兼任	講師	奥野 真由 (39) <令和6年4月> 修士(スポーツ科学)
		健康・スポーツ科学概論
兼任	講師	崎田 誠志郎 (34) <令和6年4月> 博士(地理学)
		人文地理学
兼任	講師	玉岡 兼治 (64) <令和6年4月> 修士(人文学)
		文献調査法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	國友 正信 (36) <令和6年4月> 博士(理学)
		物理学
兼任	講師	大久保 博 (64) <令和6年4月> 理学修士
		物理学
兼任	講師	森部 弘樹 (53) <令和6年4月> 博士(理学)
		生物学
兼任	講師	山本 武司 (40) <令和6年4月> 博士(医学)
		細菌学
兼任	講師	豊田 雄介 (48) <令和7年4月> 博士(生命科学)
		遺伝子・染色体検査学実習 バイオサイエンス基礎 バイオサイエンス応用 卒業研究
兼任	講師	佐野 浩子 (50) <令和7年4月> 博士(理学)
		バイオサイエンス基礎 バイオサイエンス応用 卒業研究
兼任	講師	原田 二郎 (49) <令和6年4月> 博士(理学)
		生化学
兼任	講師	森 美穂子 (51) <令和6年4月> 博士(医学)、博士(バイオ統計学)
		公衆衛生学 I 臨床検査医学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大久保 博 (64) <令和6年4月> 理学修士
		物理学
兼任	講師	森部 弘樹 (53) <令和6年4月> 博士(理学)
		生物学
兼任	講師	山本 武司 (41) <令和6年4月> 博士(医学)
		細菌学
兼任	講師	豊田 雄介 (48) <令和7年4月> 博士(生命科学)
		遺伝子・染色体検査学実習 バイオサイエンス基礎 バイオサイエンス応用 卒業研究
兼任	准教授	佐野 浩子 (50) <令和7年4月> 博士(理学)
		バイオサイエンス基礎 バイオサイエンス応用 卒業研究
兼任	講師	原田 二郎 (50) <令和6年4月> 博士(理学)
		生化学
兼任	講師	森 美穂子 (51) <令和6年4月> 博士(医学)、博士(バイオ統計学)
		公衆衛生学 I 臨床検査医学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山内 圭子 (54) <令和7年4月> 博士(栄養学)、 Master of Public Health アメリカ
		公衆衛生学Ⅱ 臨床検査医学特論
兼任	講師	松本 晃太郎 (38) <令和7年4月> 博士(医学)
		データサイエンス基礎Ⅰ 保健医療情報学 データサイエンス基礎Ⅱ データサイエンス応用 卒業研究
兼任	講師	木下 隆 (47) <令和7年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅱ 生理検査学Ⅰ 臨床検査医学特論
兼任	講師	立石 貴久 (51) <令和8年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅱ
兼任	講師	三橋 亮太 (45) <令和8年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅱ
兼任	講師	久志野 彰寛 (51) <令和8年4月> 博士(理学)
		RI検査学
兼任	講師	松岡 昌信 (50) <令和7年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅰ
兼任	講師	佐藤 守 (43) <令和7年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅰ
兼任	講師	前野 里子 (54) <令和8年4月> 修士(看護学)
		医療安全・検体採取実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山内 圭子 (54) <令和7年4月> 博士(栄養学)、 Master of Public Health アメリカ
		公衆衛生学Ⅱ 臨床検査医学特論
兼任	講師	松本 晃太郎 (38) <令和7年4月> 博士(医学)
		データサイエンス基礎Ⅰ 保健医療情報学 データサイエンス基礎Ⅱ データサイエンス応用 卒業研究
兼任	講師	木下 隆 (47) <令和7年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅱ 生理検査学Ⅰ 臨床検査医学特論
兼任	准教授	立石 貴久 (51) <令和8年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅱ
兼任	講師	三橋 亮太 (45) <令和8年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅱ
兼任	講師	久志野 彰寛 (51) <令和8年4月> 博士(理学)
		RI検査学
兼任	准教授	松岡 昌信 (50) <令和7年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅰ
兼任	講師	佐藤 守 (43) <令和7年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅰ
兼任	講師	前野 里子 (54) <令和8年4月> 修士(看護学)
		医療安全・検体採取実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	植田 浩介 (44) <令和8年4月> 博士(医学)
		ゲノム医療・先端医学
兼任	助教	石田 有紀 (46) <令和6年4月> 修士(心理学)
		学びの基本Ⅰ 学びの基本Ⅱ
兼任	助教	奥野 未来 (35) <令和6年4月> 博士(理学)
		細菌学
兼任	助教	三田尾 拓 (42) <令和7年4月> 学士(医学)
		バイオサイエンス基礎
兼任	助教	坂井 勇介 (42) <令和7年4月> 博士(医学)
		バイオサイエンス基礎 バイオサイエンス応用 卒業研究
兼任	助教	石川 健 (46) <令和7年4月> 博士(理学)
		遺伝子・染色体検査学実習 バイオサイエンス基礎 バイオサイエンス応用 卒業研究
兼任	助教	椎村 祐樹 (41) <令和7年4月> 博士(医学)
		バイオサイエンス基礎 バイオサイエンス応用 卒業研究
兼任	助教	范 綾 (39) <令和6年4月> 学士(医学)
		肉眼解剖学
兼任	助教	中村 悠 (42) <令和6年4月> 博士(医学)
		組織解剖学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	植田 浩介 (44) <令和8年4月> 博士(医学)
		ゲノム医療・先端医学
兼任	助教	石田 有紀 (46) <令和6年4月> 修士(心理学)
		学びの基本Ⅰ 学びの基本Ⅱ
兼任	講師	奥野 未来 (35) <令和6年4月> 博士(理学)
		細菌学
兼任	助教	三田尾 拓 (42) <令和7年4月> 学士(医学)
		バイオサイエンス基礎
兼任	助教	坂井 勇介 (42) <令和7年4月> 博士(医学)
		バイオサイエンス基礎 バイオサイエンス応用 卒業研究
兼任	助教	石川 健 (46) <令和7年4月> 博士(理学)
		遺伝子・染色体検査学実習 バイオサイエンス基礎 バイオサイエンス応用 卒業研究
兼任	助教	椎村 祐樹 (41) <令和7年4月> 博士(医学)
		バイオサイエンス基礎 バイオサイエンス応用 卒業研究
兼任	助教	范 綾 (39) <令和6年4月> 学士(医学)
		肉眼解剖学
兼任	助教	中村 悠 (42) <令和6年4月> 博士(医学)
		組織解剖学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	井上 実紀 (33) <令和6年4月> 博士(理学)
		組織解剖学
兼任	助教	塚口 舞 (45) <令和6年4月> 博士(薬学)
		生化学
兼任	助教	岡田 季之 (41) <令和6年4月> 博士(医学)
		免疫学 免疫学実習
兼任	助教	増田 宏 (54) <令和6年4月> 博士(医学)
		公衆衛生学Ⅰ
兼任	助教	桑木 光太郎 (48) <令和7年4月> 博士(医学)
		公衆衛生学Ⅱ マネジメントサイエンス基礎Ⅱ 臨床検査医学特論
兼任	助教	山口 真紀 (46) <令和7年4月> 学士(医学)
		血液学
兼任	助教	大屋 周期 (36) <令和7年4月> 学士(医学)
		血液学
兼任	助教	吉岡 慎一郎 (50) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	井上 実紀 (33) <令和6年4月> 博士(理学)
		組織解剖学
兼任	助教	嶋 香奈子 (45) <令和6年4月> 博士(農学)
		組織解剖学
兼任	助教	塚口 舞 (45) <令和6年4月> 博士(薬学)
		生化学
兼任	助教	岡田 季之 (41) <令和6年4月> 博士(医学)
		免疫学 免疫学実習
兼任	助教	増田 宏 (54) <令和6年4月> 博士(医学)
		公衆衛生学Ⅰ
兼任	助教	桑木 光太郎 (48) <令和7年4月> 博士(医学)
		公衆衛生学Ⅱ マネジメントサイエンス基礎Ⅱ 臨床検査医学特論
兼任	助教	山口 真紀 (46) <令和7年4月> 学士(医学)
		血液学
兼任	助教	大屋 周期 (36) <令和7年4月> 学士(医学)
		血液学
兼任	講師	吉岡 慎一郎 (50) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	福永 秀平 (47) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論 I
兼任	助教	中根 智幸 (43) <令和7年4月> 学士(医学)
		臨床医学総論 I
兼任	助教	永山 綾子 (42) <令和7年4月> 学士(医学)
		臨床医学総論 I
兼任	助教	井口 志洋 (41) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論 I
兼任	助教	蓮澤 奈央 (43) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論 I
兼任	助教	田口 顕正 (44) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論 I 臨床検査応用 卒業研究
兼任	助教	高橋 甚彌 (44) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論 I 生理検査学 II 生理検査学 I
兼任	助教	赤垣 大樹 (39) <令和7年4月> 学士(医学)
		臨床医学総論 I
兼任	助教	柴田 怜 (40) <令和7年4月> 学士(医学)
		臨床医学総論 I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	福永 秀平 (47) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論 I
兼任	助教	中根 智幸 (43) <令和7年4月> 学士(医学)
		臨床医学総論 I
兼任	助教	永山 綾子 (42) <令和7年4月> 学士(医学)
		臨床医学総論 I
兼任	助教	井口 志洋 (41) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論 I
兼任	講師	蓮澤 奈央 (43) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論 I
兼任	講師	田口 顕正 (44) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論 I 臨床検査応用 卒業研究
兼任	助教	高橋 甚彌 (44) <令和7年4月> 博士(医学)
		臨床医学総論 I 生理検査学 II 生理検査学 I
兼任	助教	赤垣 大樹 (39) <令和7年4月> 学士(医学)
		臨床医学総論 I
兼任	助教	柴田 怜 (40) <令和7年4月> 学士(医学)
		臨床医学総論 I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	阿久根 穂高 (43) <令和8年4月> 学士(医学)
		生理検査学Ⅱ
兼任	助教	田中 久一郎 (37) <令和8年4月> 学士(医学)
		生理検査学Ⅱ
兼任	助教	佐藤 文彦 (37) <令和8年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅱ
兼任	助教	戸次 宗久 (45) <令和8年4月> 学士(医学)
		睡眠医学
兼任	助教	石井 隆大 (42) <令和8年4月> 博士(医学)
		睡眠医学
兼任	助教	佐藤 公宣 (39) <令和8年4月> 博士(医学)
		睡眠医学
兼任	助教	黒岩 真帆美 (49) <令和8年4月> 博士(医学)
		薬理学
兼任	助教	中野 仁晴 (39) <令和7年4月> 学士(医学)
		生理検査学Ⅰ
兼任	助教	中尾 英智 (35) <令和7年4月> 学士(医学)
		生理検査学Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	阿久根 穂高 (43) <令和8年4月> 学士(医学)
		生理検査学Ⅱ
兼任	助教	田中 久一郎 (37) <令和8年4月> 学士(医学)
		生理検査学Ⅱ
兼任	助教	佐藤 文彦 (37) <令和8年4月> 博士(医学)
		生理検査学Ⅱ
兼任	助教	戸次 宗久 (45) <令和8年4月> 学士(医学)
		睡眠医学
兼任	助教	石井 隆大 (42) <令和8年4月> 博士(医学)
		睡眠医学
兼任	助教	佐藤 公宣 (39) <令和8年4月> 博士(医学)
		睡眠医学
兼任	助教	黒岩 真帆美 (49) <令和8年4月> 博士(医学)
		薬理学
兼任	助教	中野 仁晴 (39) <令和7年4月> 学士(医学)
		生理検査学Ⅰ
兼任	助教	中尾 英智 (35) <令和7年4月> 学士(医学)
		生理検査学Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	芝尾 昂大 (35) ＜令和7年4月＞ 学士(医学)
		生理検査学Ⅰ
兼任	助教	中野 聖士 (51) ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		画像検査学Ⅰ
兼任	助教	向笠 道太 (52) ＜令和8年4月＞ 博士(医学)
		画像検査学Ⅱ
兼任	助教	大内 彬弘 (44) ＜令和8年4月＞ 博士(医学)
		画像検査学Ⅱ
兼任	助教	井形 幸代 (49) ＜令和8年4月＞ 博士(医学)
		ゲノム医療・先端医学
兼任	特任教授	中西 吉則 (74) ＜令和6年4月＞ 修士(社会学)
		社会学
兼任	講師	天満 翔 (39) ＜令和6年4月＞ 修士(心理学)
		心理学
兼任	講師	篠倉 大樹 (41) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		久留米・筑後体験演習
兼任	講師	村江 史年 (40) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		久留米・筑後体験演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	芝尾 昂大 (35) ＜令和7年4月＞ 学士(医学)
		生理検査学Ⅰ
兼任	助教	中野 聖士 (51) ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		画像検査学Ⅰ
兼任	講師	向笠 道太 (52) ＜令和8年4月＞ 博士(医学)
		画像検査学Ⅱ
兼任	助教	大内 彬弘 (44) ＜令和8年4月＞ 博士(医学)
		画像検査学Ⅱ
兼任	助教	井形 幸代 (49) ＜令和8年4月＞ 博士(医学)
		ゲノム医療・先端医学
兼任	特任教授	中西 吉則 (74) ＜令和6年4月＞ 修士(社会学)
		社会学
兼任	講師	天満 翔 (39) ＜令和6年4月＞ 修士(心理学)
		心理学
兼任	講師	篠倉 大樹 (41) ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		久留米・筑後体験演習
兼任	講師	村江 史年 (40) ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		久留米・筑後体験演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	横尾 聡子 (49) <令和6年4月> Master of Arts in Applied Linguistics イギリス
		観光英語
兼任	講師	八嶋 義之 (48) <令和6年4月> 学士(人文学)
		歴史学
兼任	講師	永吉 守 (53) <令和6年4月> 博士(国際文化)
		文化人類学
兼任	講師	丸山 望実 (28) <令和6年4月> 修士(文学)
		哲学
兼任	講師	伊佐 智子 (58) <令和6年4月> 博士(法学)
		いのちの倫理
兼任	講師	北垣 浩志 (53) <令和6年4月> 博士(農学)
		英語TOEFL 英語(リーディング)
兼任	講師	千坂 大二郎 (29) <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康・スポーツ科学(実技)
兼任	講師	圖師 琴音 (24) <令和6年4月> 専門学校卒
		キャリア入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大場 智恵子 (60) <令和6年4月> Master of Education アメリカ
		観光英語
兼任	講師	八嶋 義之 (48) <令和6年4月> 学士(人文学)
		歴史学
兼任	講師	永吉 守 (53) <令和6年4月> 博士(国際文化)
		文化人類学
兼任	講師	丸山 望実 (28) <令和6年4月> 修士(文学)
		哲学
兼任	講師	伊佐 智子 (58) <令和6年4月> 博士(法学)
		いのちの倫理
兼任	講師	北垣 浩志 (53) <令和6年4月> 博士(農学)
		英語TOEFL 英語(リーディング)
兼任	講師	千坂 大二郎 (29) <令和6年4月> 修士(体育学)
		健康・スポーツ科学(実技)
兼任	講師	圖師 琴音 (24) <令和6年4月> 専門学校卒
		キャリア入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	徳永 翔 (23) <令和6年4月> 専門学校卒
		キャリア入門
兼任	講師	土持 貴志 (33) <令和6年4月> 修士(文学)
		論理学
兼任	講師	森 信之 (62) <令和6年4月> 博士(理学)
		数学
兼任	講師	平 誠一 (49) <令和8年4月> 修士(法学)
		関係法規 臨床検査医学特論
兼任	講師	折岡 健太郎 (47) <令和7年4月> 修士(医療情報学)
		マネジメントサイエンス基礎Ⅱ 保健医療情報学 マネジメントサイエンス応用Ⅰ マネジメントサイエンス応用Ⅱ マネジメントサイエンス応用Ⅲ
兼任	講師	永松 あゆ (45) <令和8年4月> 修士(医科学)
		臨床栄養学
兼任	講師	池田 真由美 (46) <令和8年4月> 学士(食物栄養学)
		睡眠医学
兼任	講師	橋本 鶴美 (54) <令和8年4月> 学士(臨床検査学)
		睡眠医学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	徳永 翔 (23) <令和6年4月> 専門学校卒
		キャリア入門
兼任	講師	水谷 亮介 (29) <令和6年4月> 修士(文学)
		論理学
兼任	講師	森 信之 (62) <令和6年4月> 博士(理学)
		数学
兼任	講師	平 誠一 (49) <令和8年4月> 修士(法学)
		関係法規 臨床検査医学特論
兼任	講師	折岡 健太郎 (47) <令和7年4月> 修士(医療情報学)
		マネジメントサイエンス基礎Ⅱ 保健医療情報学 マネジメントサイエンス応用Ⅰ マネジメントサイエンス応用Ⅱ マネジメントサイエンス応用Ⅲ
兼任	講師	永松 あゆ (45) <令和8年4月> 修士(医科学)
		臨床栄養学
兼任	講師	池田 真由美 (46) <令和8年4月> 学士(食物栄養学)
		睡眠医学
兼任	講師	橋本 鶴美 (54) <令和8年4月> 学士(臨床検査学)
		睡眠医学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	江崎 和久 (64) <令和8年4月> 博士(医学)
		睡眠医学
兼任	講師	酒井 義朗 (46) <令和6年5月> 博士(医学)
		薬理学
兼任	講師	垂水 俊樹 (34) <令和7年4月> 専門学校卒
		血液検査学実習 一般検査学実習 臨床検査医学特論
兼任	講師	岡田 和大 (34) <令和7年4月> 修士(保健学)
		血液検査学実習 臨床検査医学特論
兼任	講師	三栖 徹也 (37) <令和7年4月> 専門学校卒
		臨床化学検査学実習
兼任	講師	齊藤 弘子 (31) <令和7年4月> 学士(教養)
		臨床化学検査学実習
兼任	講師	吉富 史美 (30) <令和7年4月> 修士(保健学)
		臨床化学検査学実習
兼任	講師	牟田 誠矢 (35) <令和8年4月> 専門学校卒
		免疫検査学 臨床検査医学特論
兼任	講師	那須 沙織 (39) <令和8年4月> 学士(理学)
		RI検査学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	江崎 和久 (64) <令和8年4月> 博士(医学)
		睡眠医学
兼任	講師	酒井 義朗 (46) <b>&lt;令和8年4月&gt;</b> 博士(医学)
		薬理学
兼任	講師	垂水 俊樹 (34) <令和7年4月> 専門学校卒
		血液検査学実習 一般検査学実習 臨床検査医学特論
兼任	講師	岡田 和大 (34) <令和7年4月> 修士(保健学)
		血液検査学実習 臨床検査医学特論
兼任	講師	三栖 徹也 (37) <令和7年4月> 専門学校卒
		臨床化学検査学実習
兼任	講師	齊藤 弘子 (31) <令和7年4月> 学士(教養)
		臨床化学検査学実習
兼任	講師	吉富 史美 (30) <令和7年4月> 修士(保健学)
		臨床化学検査学実習
兼任	講師	牟田 誠矢 (35) <令和8年4月> 専門学校卒
		免疫検査学 臨床検査医学特論
兼任	講師	那須 沙織 (39) <令和8年4月> 学士(理学)
		RI検査学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	池末 竜治 (53) ＜令和8年4月＞ 学士(保健衛生学)
		RI検査学
兼任	講師	佐藤 悦子 (60) ＜令和7年4月＞ 準学士(臨床検査)
		遺伝子・染色体検査学 遺伝子・染色体検査学実習
兼任	講師	藤好 麻衣 (36) ＜令和8年4月＞ 専門学校卒
		輸血・移植検査学 輸血・移植検査学実習 臨床検査医学特論
兼任	講師	宮本 直樹 (36) ＜令和6年4月＞ 修士(医科学)
		微生物検査学実習Ⅰ 微生物検査学実習Ⅱ
兼任	講師	大坪 直広 (32) ＜令和6年4月＞ 専門学校卒
		微生物検査学実習Ⅰ 微生物検査学実習Ⅱ
兼任	講師	梶原 亮佑 (32) ＜令和6年4月＞ 修士(保健学)
		微生物検査学実習Ⅰ
兼任	講師	堀田 吏乃 (52) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒
		微生物検査学実習Ⅱ
兼任	講師	田代 尚崇 (39) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒
		微生物検査学実習Ⅱ
兼任	講師	小森 真由美 (60) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒
		生理検査学実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	池末 竜治 (53) ＜令和8年4月＞ 学士(保健衛生学)
		RI検査学
兼任	講師	佐藤 悦子 (60) ＜令和7年4月＞ 準学士(臨床検査)
		遺伝子・染色体検査学 遺伝子・染色体検査学実習
兼任	講師	藤好 麻衣 (36) ＜令和8年4月＞ 専門学校卒
		輸血・移植検査学 輸血・移植検査学実習 臨床検査医学特論
兼任	講師	宮本 直樹 (36) ＜令和6年4月＞ 修士(医科学)
		微生物検査学実習Ⅰ 微生物検査学実習Ⅱ
兼任	講師	大坪 直広 (32) ＜令和6年4月＞ 専門学校卒
		微生物検査学実習Ⅰ 微生物検査学実習Ⅱ
兼任	講師	梶原 亮佑 (32) ＜令和6年4月＞ 修士(保健学)
		微生物検査学実習Ⅰ
兼任	講師	堀田 吏乃 (52) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒
		微生物検査学実習Ⅱ
兼任	講師	田代 尚崇 (39) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒
		微生物検査学実習Ⅱ
兼任	講師	小森 真由美 (60) ＜令和7年4月＞ 専門学校卒
		生理検査学実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	尊田 夕香里 (53) <令和7年4月> 専門学校卒
		生理検査学実習
兼任	講師	中島 雅子 (55) <令和7年4月> 専門学校卒
		生理検査学実習
兼任	講師	大鶴 翔一 (36) <令和7年4月> 学士(教養)
		生理検査学実習
兼任	講師	貞元 祐二 (49) <令和7年4月> 専門学校卒
		生理検査学実習
兼任	講師	福島 奈央 (46) <令和7年4月> 専門学校卒
		画像検査学 I
兼任	講師	伊藤 慎一郎 (41) <令和7年4月> 学士(教養)
		画像検査学 I 臨床検査医学特論
兼任	講師	鈴木 真 (42) <令和8年4月> 修士(保健学)
		画像検査学 II
兼任	講師	川野 祐幸 (55) <令和8年4月> 専門学校卒
		検査管理総論
兼任	講師	早田 峰子 (53) <令和8年4月> 専門学校卒
		検査管理総論 臨床検査医学特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	尊田 夕香里 (53) <令和7年4月> 専門学校卒
		生理検査学実習
兼任	講師	中島 雅子 (55) <令和7年4月> 専門学校卒
		生理検査学実習
兼任	講師	大鶴 翔一 (36) <令和7年4月> 学士(教養)
		生理検査学実習
兼任	講師	貞元 祐二 (49) <令和7年4月> 専門学校卒
		生理検査学実習
兼任	講師	福島 奈央 (46) <令和7年4月> 専門学校卒
		画像検査学 I
兼任	講師	伊藤 慎一郎 (41) <令和7年4月> 学士(教養)
		画像検査学 I 臨床検査医学特論
兼任	講師	鈴木 真 (42) <令和8年4月> 修士(保健学)
		画像検査学 II
兼任	講師	川野 祐幸 (55) <令和8年4月> 専門学校卒
		検査管理総論
兼任	講師	早田 峰子 (53) <令和8年4月> 専門学校卒
		検査管理総論 臨床検査医学特論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	樋口 恭子 (54) <令和6年4月> 博士(医学バイオ統計学)
		薬品管理学
兼任	講師	橋本 賢勇 (38) <令和8年4月> 修士(医科学)
		ゲノム医療・先端医学
兼任	講師	長峯 理子 (52) <令和8年4月> 博士(医学)
		ゲノム医療・先端医学
兼任	講師	浜口 拓郎 (39) <令和9年4月> 学士(保健学)
		臨床検査医学特論
兼任	講師	金子 富美 (63) <令和7年4月> 博士(医学)
		応用選択コース入門

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	樋口 恭子 (54) <令和6年4月> 博士(医学バイオ統計学)
		薬品管理学
兼任	講師	橋本 賢勇 (38) <令和8年4月> 修士(医科学)
		ゲノム医療・先端医学
兼任	講師	長峯 理子 (52) <令和8年4月> 博士(医学)
		ゲノム医療・先端医学
兼任	講師	浜口 拓郎 (39) <令和9年4月> 学士(保健学)
		臨床検査医学特論
兼任	講師	金子 富美 (63) <令和7年4月> 博士(医学)
		応用選択コース入門

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。

- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・福満千容：令和6年5月1日現在の保有学位へ変更。
- ・吉田典子：兼任教授就任辞退。
- ・榎本美佳：令和6年4月兼任教授就任、吉田典子より担当者変更。
- ・鷹野 誠：令和6年3月退職、令和6年4月兼任講師就任。
- ・吉田史章：令和6年4月兼任教授就任。担当者追加。
- ・中島則行：令和6年4月兼任教授就任。担当者追加。
- ・酒井佳世：申請時の入力誤りのため、氏名修正。
- ・塩澤誠司：兼任准教授から兼任教授へ昇任。
- ・佐藤貴弘：兼任准教授から兼任教授へ昇任。
- ・恒松佳代子：令和6年5月1日現在の保有学位へ変更。
- ・國友正信：兼任講師就任辞退。
- ・佐野浩子：兼任講師から兼任准教授へ昇任。
- ・立石貴久：兼任講師から兼任准教授へ昇任。
- ・松岡昌信：兼任講師から兼任准教授へ昇任。
- ・奥野未来：兼任助教から兼任講師へ昇任。
- ・嶋香奈子：令和6年4月兼任助教就任。担当者追加。
- ・吉岡慎一郎：兼任助教から兼任講師へ昇任。
- ・蓮澤奈央：兼任助教から兼任講師へ昇任。
- ・田口顕正：兼任助教から兼任講師へ昇任。
- ・向笠道太：兼任助教から兼任講師へ昇任。
- ・横尾聡子：兼任講師就任辞退。
- ・大場智恵子：令和6年4月兼任講師就任、横尾聡子より担当者変更。
- ・土持貴志：兼任講師就任辞退。
- ・水谷亮介：令和6年4月兼任講師就任、土持貴志より担当者変更。
- ・酒井義朗：申請時の入力誤りのため、就任（予定）年月修正。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**。
  - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。  
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
8	4	0	3	15	0	7	4	0	1	12	0
(7)	(4)	(0)	(1)	(12)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
8	4	0	3	15	0	8	4	0	3	15	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)  
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
教授 65 教授以外 60 歳	0 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{15} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし									
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし									
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由**で辞任した**全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{15} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
認 可 時 (令和5年)	教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。  【認可】 遵守事項	アドミッション・ポリシーを募集要項、学科ホームページ入試情報欄等で志願者に周知を図った。その上で、アドミッション・ポリシーに基づき本学科の教育を受け十分な学力・能力・意欲等を有する学生を受け入れるために、一般選抜（前期・後期）、共通テスト利用選抜（A日程・B日程）、学校推薦型選抜（一般）を実施した。定員74名に対して257名の志願者（定員の3.47倍）があり、77名の入学者を確保できた。（6）	令和7年度入試スケジュールに従い、募集要項、学科ホームページ入試情報欄等においてアドミッション・ポリシーの志願者への周知を徹底する。令和6年度末までに医療検査学科校舎の整備が完了するため、オープンキャンパスや大学訪問などの機会に充実した教育施設・設備を紹介する。また、入学者（1年生）の学生生活の様子を学科ホームページ等で発信し、志願者の増加に努める。（6）

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
    - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】  
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
    - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】  
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。
    - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】  
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <医学部 医療検査学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>○一般選抜（前期日程） 外国語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰ） 理科（「物理基礎、物理」、「化学基礎、化学」、「生物基礎、生物」から1科目選択） 数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A）</p> <p>○一般選抜（後期日程） 外国語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰ） 数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A）</p> <p>○共通テスト利用選抜（A日程・B日程） 外国語（英語（リスニングを含む）） 数学（「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択） 理科（「物理基礎/化学基礎/生物基礎」、「物理」、「化学」、「生物」から1科目選択、ただし、「物理基礎/化学基礎/生物基礎」については、2科目の合計点を1科目の得点として扱う。）</p> <p>○学校推薦型選抜（一般） 外国語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰ） 数学（数学Ⅰ、数学A）</p>	<p>平成30年度告示高等学校学習指導要領に対応し、令和7年度入学者選抜における出題教科及び科目を以下のとおりとする。また、各選抜における科目出題については、令和7年度入学者選抜に限り、旧教育課程履修者を考慮した出題を行う。</p> <p>○一般選抜（前期日程） 外国語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ） 理科（「物理基礎、物理」、「化学基礎、化学」、「生物基礎、生物」から1科目選択） 数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A）</p> <p>○一般選抜（後期日程） 外国語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ） 数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A）</p> <p>○共通テスト利用選抜（A日程・B日程） 外国語（英語（リーディング・リスニング）） 数学（「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」から1科目選択） 理科（「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」から1科目選択、ただし、「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」については、物理基礎/化学基礎/生物基礎のうち2科目の合計点を1科目の得点として扱う。）</p> <p>※旧教育課程履修者への経過措置について 数学（「旧数学Ⅰ・旧数学A」、「旧数学Ⅱ・旧数学B」）</p> <p>令和7年度共通テスト利用において、経過措置科目の利用を認める。</p> <p>○学校推薦型選抜（一般） 外国語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ） 数学（数学Ⅰ、数学A）</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

- ・医療検査学科教育評価委員会
- ・医療検査学科FD委員会

当該会議については、教務委員会による組織的な教務活動ならびに各教員の資質の維持向上を図ることとしている。

（別紙1：久留米大学医学部医療検査学科教育評価委員会細則）

（別紙2：久留米大学医学部医療検査学科FD委員会内規）

#### ・医学教育研究センター会議

本学医学部における教育支援組織として、医学教育に関する研究及び情報収集並びに医学教育活動への助言・指導をもって本学の発展に寄与し、学生教育、教員の教育力等の向上に貢献することを目的とする医学教育研究センターを置き、医学科、看護学科、医療検査学科の学生や教員がその支援を受けている。当該会議はセンターの円滑な運営や活動方針の審議のため開催し、構成員には3学科の教務委員長も含んでいる。また、関連する委員会として、医学部医学科内にIR委員会及びFD委員会を設置しており、現在、医療検査学科及び看護学科の教務委員長はオブザーバーとして参加しているが、今後は、学部全体の委員会として機能させるべく、検討を進めている。

（別紙3：医学教育研究センター規程）

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・学科開設前の令和5年度には『医療検査学科設置準備委員会』の主導により、専任教員予定者15名を対象に、FD開催、及び外部機関によるFD、SD受講の推奨を行った。
- ・医療検査学科教育評価委員会及びFD委員会は、今後、懸案事項に応じて定期的に開催予定としている。
- ・医学教育研究センター会議は、懸案事項に応じて適宜開催している。

#### c 委員会の審議事項等

##### ・医療検査学科教育評価委員会

- (1) 教育課程や学修成果の評価に関する事項
- (2) 教員の活動や能力の評価に関する事項
- (3) 教務の計画や実施の評価に関する事項
- (4) その他の教育評価に関する事項

##### ・医療検査学科FD委員会

- (1) FD関連活動の企画・運営に関する事項
- (2) 学生による授業評価に基づく改善に関する事項
- (3) 卒業生及び就職先による教育評価に基づく改善に関する事項
- (4) 授業内容、授業方法の改善・向上に関する事項
- (5) 学部等間のFDの連絡調整に関する事項
- (6) SD（スタッフ・ディベロップメント）との連絡調整に関する事項
- (7) その他委員長が必要と認めるFDに関する事項

##### ・医学教育研究センター会議規程

- (1) 規程等の制定又は改廃に関する事項
- (2) センターの運営方針に関する事項
- (3) その他センター長が必要と認める事項

### ② 実施状況

#### a 実施内容

##### 【新任教員のための研修会開催】

- ・医学部医療検査学科の理念及び教育方針の説明（学生による科目評価、教員評価の実施を含む）
- ・学生教育（学内実習・演習や研究活動）における臨床検体・臨床データの二次利用に関する倫理的な留意点
- ・災害発生時の講義室からの避難経路および誘導方針の確認

##### 【学科外主催の研修会等の紹介・推奨】

- ・改正障害者差別解消法の施行に向けた準備・対応（久留米大学主催）
- ・人権擁護に関する研修会（久留米大学主催）
- ・ダイバーシティ・インクルージョンに関する研修会（久留米大学主催）
- ・授業方法についての研究会（協同教育研究所主催）

##### 【教員相互の授業参観】

- ・専任教員は、今後、開講される科目の準備に向けて、適宜、関連する授業（医療検査学科内及び本学医学科、医学部附属臨床検査専門学校）の参観を行っている。

## b 実施方法

### 【新任教員のための研修会】

開設前年度となる令和5年度には、医療検査学科設置準備委員会が新任教員のための研修会を開催した。専任教員15名を対象とし、対面形式、または対面・ライブ配信のハイブリッド形式にて実施し、説明や講演を視聴した後、質疑応答と意見交換を行った。

### 【学科外主催の研修会等】

各主管部署や外部の研究会世話人等から該当部署へ案内され、学科長や関連する委員会委員長から専任教員へメールで周知し、積極的な参加を促した。対面形式、ライブ配信、オンデマンド配信など形式は様々である。

### 【教員相互の授業参観】

医療検査学科拡大教授会議やメーリングリストなどで、関連する教員から専任教員全員一斉に案内を行う場合と各教員がシラバスや時間割を確認して、参観を希望する授業の担当者に直接依頼する場合がある。

## c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・新任教員のための研修会は、令和5年度内に2回開催され、学科専任教員のべ28名が参加した。都合により不参加の教員に対しては、資料を配付し、質問・意見等を受け付けた。
- ・学科外主催の研修会等への学科専任教員受講人数は、以下のとおり。
  - 合理的配慮・障害者差別解消法に関する研修会：8名
  - 人権擁護に関する研修会：10名
  - ダイバーシティ・インクルージョンに関する研修会：2名
  - 授業方法についての研究会：4名
- ・教員相互の授業参観の対象となった科目
  - 医学科（協同学習、社会医学系科目の実習、救命救急実習）
  - 医療検査学科（キャリア入門、化学）
  - 臨床検査専門学校（臨床化学検査学、生理学検査学、輸血移植検査学、免疫検査学、医療安全学等）

## d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・研修会にて、各科目において想定される臨床検体/データの二次利用の種類や目的、利用方法を共有した。また、これらを適切に実施する前提として、提供を依頼する医療施設における受診者への包括同意の説明書の改訂及び同施設における提供体制の整備が課題として見出された。これらの課題を解決するため、当該施設の担当者に事前相談を行い、対応を進めているところである。
- ・人権擁護に関する研修会は、各教員の教育・研究活動におけるコンプライアンス遵守に活用されている。
- ・ダイバーシティ・インクルージョンに関する研修会について、令和5年度は科研費獲得セミナーが実施され、研究の企画立案・プレゼンテーション法についての講義と意見交換を通じて、教員自身の研究活動と学生への指導スキルの向上が図られた。これは、2年次以降を対象とする研究に関する授業への活用が見込まれるほか、授業全般における教員のプレゼンテーションスキルにも反映されている。
- ・授業方法についての研究会については、研究会世話人の指導の下に新入生の授業科目にも同手法が導入され、ここで専任教員も共に、学生が主体的に学び合える意識とスキルの修得を図る教育を開始している。
- ・教員相互の授業参観の効果として、教員同士の意見交換により、授業内容や手法についての企画と改善の取り組みが為されているところである。

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

実施の有無：有（実施予定）  
実施時期：未定

### b 教員や学生への公開状況、方法等

授業終了後に科目評価アンケート、年度終了時に専任教員に対する教員評価アンケートを実施することは決定している。まだ実施するタイミングには達しておらず、今後、令和6年6月までに具体的な実施内容、実施時期、教員や学生への公開方法などを審議・決定する予定である。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

## （3）教育課程連携協議会に関する事項

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

医学部医療検査学科は、メディカルサイエンスに精通し、多様で高度な医療のニーズに対応できる次世代型臨床検査技師を育成することを目的として開設した。質の高い医学部での臨床検査専門教育（メディカルテクノロジー教育）を基盤とし、時代のニーズに合ったヘルスサイエンス教育を提供することにより、急速に進歩する科学及び医療・検査技術の進歩と医療ニーズの変遷に対応する能力の高い検査技師、つまり、次世代型臨床検査技師を育成する。本学科の設置の趣旨・目的のもとに学生募集を行い、募集定員を充足する入学生を確保することができた。

教育カリキュラムは、臨床検査の専門的な知識と技術を修得する「臨床検査プログラム」、ヘルスサイエンスを学ぶ「全学的文医融合プログラム」、多様な分野の専門家から教養とチーム医療を学ぶ「医学部連携プログラム」の3つの要素により構成している。1年次より基礎から応用まで段階的に学修できるように、教育課程を「基礎科目」、「専門基礎科目」、「専門科目」に区分して編成し、授業科目を開講している。

教員組織は完成年度に向けて段階的に整備されるが、令和6年度には12名の専任教員が予定通り着任し、講義と実習を担当している。また、専門性の高い医学・医療の分野では、本学医学部、大学病院、附置研究所の兼任・兼任教員と連携した教育が実施できている。

以上のように、設置計画に基づいて初年度の学生教育を実施することができており、設置の趣旨・目的の達成のための取り組みを継続的に進めている。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

- ・ 毎年度12月下旬に前年度の報告書を公表しており、令和6年5月1日時点で令和4年度分まで公表。

###### b 公表方法

- ・ 上記公表（予定）時期に大学ホームページ上に公開。

##### ③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・ 令和9年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受ける予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [ (有) ・ 無 ]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

## ○久留米大学医学部医療検査学科教育評価委員会細則

〔 令和 5 年 10 月 18 日  
細則 第 5 - 4 号 〕

(設置)

第 1 条 久留米大学医学部医療検査学科の教育を評価するため、久留米大学医学部医療検査学科教育評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第 2 条 委員会は、医学部医療検査学科の教育の評価に関する事項について審議し、教育の質の向上を図り、継続的な教育の質の保証に資することを目的とする。

(組織)

第 3 条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 医学部医療検査学科教授会議（以下「教授会議」という。）において選出された医学部医療検査学科教授 5 名
- (2) 教授会議において選出された医学部医療検査学科准教授及び講師 若干名
- (3) 学生を代表する者 若干名
- (4) その他委員長が指名した者 若干名

2 委員長は学科長が指名し、副委員長は委員長が指名するものとする。

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代行する。

5 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。ただし、委任状により議決権を委任した者は出席とみなす。

6 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決する。

7 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とし再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(審議事項)

第 5 条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育課程や学修成果の評価に関する事項
- (2) 教員の活動や能力の評価に関する事項
- (3) 教務の計画や実施の評価に関する事項
- (4) その他の教育評価に関する事項

(審議結果の付議)

第 6 条 委員会は、前条に定める審議結果を医学部医療検査学科拡大教授会議に付議する。

(部門等)

第7条 委員会の下に、個別の事項を審議するために必要に応じ、部門、部会、ワーキンググループ等を置くことができる。

2 前項に規定する部門については、別に定める。

(庶務)

第8条 委員会に関する庶務は、看護・医療検査学科事務室において行う。

附 則

この細則は、令和6年4月1日から施行する。

## ○久留米大学医学部医療検査学科FD委員会内規

〔令和6年3月21日〕  
内規 第5-8号

(設置)

第1条 久留米大学医学部医療検査学科において、教育・研究活動の質向上や改善のためにファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を推進し、実施するため、久留米大学医学部医療検査学科FD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(組織)

第2条 委員会は、次の委員をもって組織する。

- (1) 医学部医療検査学科教授会議（以下「教授会議」という。）において選出された医学部医療検査学科教授 5名
- (2) 教授会議において選出された医学部医療検査学科教員 若干名
- 2 委員長は学科長が指名し、副委員長は委員長が指名するものとする。
- 3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 4 委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代行する。
- 5 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。ただし、委任状により議決権を委任した者は出席とみなす。
- 6 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決する。
- 7 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(委員の任期)

第3条 委員の任期は、2年とし再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(審議事項)

第4条 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) FD関連活動の企画・運営に関する事項
- (2) 学生による授業評価に基づく改善に関する事項
- (3) 卒業生及び就職先による教育評価に基づく改善に関する事項
- (4) 授業内容、授業方法の改善・向上に関する事項
- (5) 学部等の中のFDの連絡調整に関する事項
- (6) SD（スタッフ・ディベロップメント）との連絡調整に関する事項
- (7) その他委員長が必要と認めるFDに関する事項

(庶務)

第5条 委員会に関する庶務は、看護・医療検査学科事務室において行う。

附 則

この内規は、令和6年4月1日から施行する。

## ○久留米大学医学教育研究センター規程

〔平成 26 年 9 月 30 日〕  
規程 第 26-2 号

## (設置)

第 1 条 久留米大学（以下「本学」という。）医学部に、医学教育研究センター（以下「センター」という。）を置く。

## (目的)

第 2 条 センターは、本学医学部における教育支援組織として、医学教育に関する研究及び情報収集並びに医学教育活動への助言及び指導を行い、もって本学の発展に寄与し、学生教育、教員の教育力等の向上に貢献することを目的とする。

## (業務)

第 3 条 センターは、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 医学教育の支援業務に関すること。
- (2) 教育カリキュラムの検証、評価及び調整に関すること。
- (3) 教育方略の開発及び研究に関すること。
- (4) 評価方法の開発及び研究に関すること。
- (5) 医師国家試験・共用試験に関する情報収集及び対策に関すること。
- (6) 教員教育に関すること。
- (7) 教務委員会、教授会等への医学教育に関する助言及び提案に関すること。
- (8) 卒前教育及び卒後教育の連携に関すること。
- (9) 学修者の意見収集に関すること。
- (10) 教育 I R (Institutional Research) に関すること。
- (11) 模擬患者の教育に関すること。
- (12) 国際交流に関すること。
- (13) 医学部のデータサイエンス教育に関すること。
- (14) シミュレーション教育に関すること。
- (15) 教育における外部評価に関すること。
- (16) その他本学医学部教育に関すること。

## (職員)

第 4 条 センターに、次の各号の職員を置くことができるものとする。

- (1) 教育職員
- (2) 事務職員
- (3) その他の職員

## (センター長及び副センター長)

第 5 条 センターにセンター長及び副センター長を置く。

- 2 センター長は、医学部長が推薦し、医学部医学科講座主任教授会議の承認を得るものとする。
- 3 センター長及び副センターの任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、欠員

が生じた場合の補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

4 センター長は、センターに関する事項を管掌する。

5 副センター長は、センター教育職員のうちからセンター長が指名するものとする。

6 副センター長は、センター長を補佐し、センター長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理又はその職務を代行する。

(センター会議)

第6条 センターの円滑な運営を図るため、医学教育研究センター会議（以下「センター会議」という。）を置く。

2 センター会議は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

(1) センター長

(2) 副センター長

(3) 医学科、看護学科及び医療検査学科教務委員長

(4) 医学部教育職員

(5) その他センター長が必要と認める者

3 センター会議は、次の各号に掲げる事項について審議し、医学部教授会の議を経るものとする。

(1) 規程等の制定又は改廃に関する事項

(2) センターの運営方針に関する事項

(3) その他センター長が必要と認める事項

(臨床技能部門)

第7条 医学部における学生と医療従事者の社会のニーズに応じた臨床技能、医療安全、多職種連携教育の推進及びそれらの教育研究のため、センターに臨床技能部門を置く。

2 前項については、別に定める。

(情報科学部門)

第8条 医学部における教育 I R、データサイエンス教育の推進及び情報科学技術 ( I T) の利活用による教育研究の推進のため、センターに情報科学部門を置く。

2 前項については、別に定める。

(国際交流部門)

第9条 医学教育における国際交流推進のため、センターに国際交流部門を置く。

2 前項については、別に定める。

(庶務)

第10条 センターの庶務は、医学部事務部庶務課において行う。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年5月19日から施行し、同年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年9月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。